

第一回水素貯蔵材料先端基盤研究事業技術検討会議 プログラム

日時 2007年6月14日(木曜日) 午前9時~午後3時20分

場所 産業技術総合研究所つくば中央 中央講堂多目的室

1. 開会挨拶 プロジェクトリーダー
2. 自己紹介
3. プロジェクト概要説明 プロジェクトリーダー
4. 研究内容紹介 サブリーダー説明*(20分) テーマ担当者発表(10分/テーマ)
 - 金属系 (9時30分~10時10分)
 - 「金属系水素貯蔵材料の基礎研究」「回折・散乱法を用いた金属系水素貯蔵材料の研究」
中村優美子* (産総研 エネルギー技術研究部門)
 - 「陽電子消滅法を用いた金属系水素貯蔵材料の研究」
榊 浩司 (産総研 エネルギー技術研究部門)
 - 「NMRを用いた金属水素化物の研究」
林 繁信 (産総研 計測フロンティア研究部門)
 - 非金属系 (10時10分~11時)
 - 「ナノ複合水素貯蔵材料の創製、解析とその場分析」
小島由継* (広島大 先進機能物質研究センター)
 - 「第一原理計算による電子状態と構造安定性解明」
小口多美夫 (広島大 先端物質科学)
 - 「その場電子顕微鏡観察による反応機構解析」
大貫惣明 (北大工)
 - 「電解チャージによる非金属系水素貯蔵材料の創製と反応機構解析」
鈴木啓史 (上智大理工)
 - 物性 (11時~12時)
 - 「水素と材料の相互作用の実験的解明」(「高密度水素化物の構造物性研究」を含む)
町田晃彦* (原子力機構 量子ビーム)
 - 「水素貯蔵材料表面の化学的制御と材料特性の相関研究」
寺岡有殿 (原子力機構 量子ビーム)
 - 「水素貯蔵材料の電子物性の研究」
山上浩志 (原子力機構 量子ビーム)
 - 「水素吸蔵合金の極限環境下における電子光物性の研究」

「水素吸蔵合金の超高压下の電氣的・磁氣的研究」

清水克哉（阪大 極限量子科学研究センター）

「高压力下の光スペクトロスコピーによる金属水素化物の光電子物性の研究」

久米徹二（岐阜大工）

昼食（12時～13時）

計算科学（13時～13時55分）

「水素貯蔵メカニズムに関する分子動力的研究」

小川 浩*（産総研 計算科学研究部門）

「第一原理計算に基づく水素貯蔵材料の特性評価に関する研究」

手塚明則（産総研 計算科学研究部門）

「水素貯蔵材料の構造安定性に関する分子動力的研究」

片桐昌彦（物材機構 計算材料科学研究センター）

「新規水素貯蔵材料のシミュレーション探索研究」(15分)

水関博志（東北大学 金属材料研究所）

中性子（13時55分～14時25分）

「J-PARC 高強度全散乱装置の概要」

大友季哉*°（高工機構）、鈴谷賢太郎（原子力機構 中性子利用）

「全散乱装置による水素貯蔵材料の研究」

伊藤恵司°、森一広（京大原子炉）、大友季哉（高工機構）、福永俊晴（京大原子炉）

部分採択テーマ（14時25分～14時40分）

「水素貯蔵材料における M-e-H 間相互作用の NMR 分光解析」(15分)

高村 仁（東北大 特定領域研究推進センター）、前川英巳（東北大工）

5．事務連絡（14時40分～）

6．

7．閉会（15時20分）

注 産総研発つくば駅行きシャトルバス

15:40 発 15:55 着 つくば発 16:11 快速に連絡 秋葉原着 16:56